This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.





M (共自法制法 600/17 月 分更出点:1990回题

 $\mathfrak{s}_{6}^{\alpha} (\mathfrak{s}_{6} | 5, 0) \oplus (4) \rightarrow (-1) \oplus \mathfrak{s}_{6}$

齐 蔡 英 超 4 特許庁長官。 リョクショクソョフプソ ニュサンハツ コフ 1ンショクリョウヒン 紙 色 根 物 の 乳 飯 か か ぎ 食 料 命 七1 グロ・ボ の 製 竜 佐

- 発明の名称
- 2. 特許請求の範囲に記載された発明の数 2
- 3. 発 an 1 (E) ラ 兵庫発援等市山本半井山在 4つ14 ヨン ヒブ ワラ 23 5 1 2 157 źż.
- 4. 特許出願人

タカラゾカーヤベモトヒライ サンソウ 公康州中联由山本平开印和 15-14

XXXXXX **ワ**ラー ヨシ (投名 1,14 45X38K35X

粉入人具

5. 代 理 7107 東京都港区赤坂1丁目9番15号。 日 长 自 転 夷 会 館 名 6008 年27 小小田 島 平 古 ıi. at 2 3 5 8 5 2 7 5 6



1 【全明の名称】

程色排物の乳糜熱欝飲食料品の製造法

2 (おき3米の範囲)

1. は毎晩物がら称大田彫分を分辨なまして母 公司名目行及过来的共行为朝鲜的行应分式产物者 を強うして直接経験することではからかするは無機 2. 万丈多种植物食料与内类药品。

2. 人的植产协商都实制用分类分准领人包气槽 られるではでは空間の製造料信息であせば、と呼 人 杨维州公共过去和包含南省西部人以降与东外海 B. ANT. FRANKE LTERS STOCK 运运员公主题,由我们的普勒证 人名伊奎律特尔西 超 医红斑 经自己税额

(19) 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 51 115968

43)公園日 昭51. (1976) 10-13

21.特願昭 50 38608

昭50、(1975) 4、/ 22出 項 1 i

審查請求

。全**7**頁)

庁内整理番号

6904 49 5904 49

52日本分類

34 L/ 34 452 51 Int. C12

A23L 1 34

2 38 A23L

A23C 9 12

3 「公司の政権の課題】

出版明程、明度性关键可能和中模物的权益主法 身 もわり 風の 知発 生植 物体で 緑色な早にてなれるれ 油とモャシをも含む1の仲計が分しいどかけと云 为人的民族的 钻电路物金含有体向部发标品的数值 运作使生态。

作ぶ、支頭の生物菌が発物、いわららば直頭の 文鍵音楽上の他のは広くでめられており、その製 き伝述はして は多くの 装制がたされるいらいしゃ 13年前,甲基性鼠疫明益動性橄榄工专项(3)《多族 经查询专用的股票的价格分类或额目 化二叉氯异剂 おとすること このいて、 逆を失ば おげこ たい作は 使見せく見当らない。 食中に無染りはラグ人間の は独物を全ちょうととはついては、 多つんを定明 シャンキギしたり伝があるのみぐと じんしゃぶが

特問 昭51-115968 (2)

46-38548無約許公別)、この提案は要額 の實行をpH6-9で順務又は複新妨礙して申ら れる母類経基份実をそのまと保証業強剤とするも のであつた。

しかるに本発明によれば、意識の窓頭の指針を発揮を除することにより、存成の栄養等を含有する良質の乳機能群生産物が得られることが見出された。

本発明の対象とする権利を強としては、例えばコンフリー、ケール、大根等、レタス、行うれん様、キャベツ、人参、ピーマン、プロツコリー、シソ酸、クローバー、ニラ、ネギ、クズ葉、ヨモギ、アロエ、ピート、キク泉、白葉、バセリ、ハコベ、アルフアアルフで浮力全ての可食性とは可ら対性植物は繋が包含される、迄今の明食性種物

の対策は人間を含めて生物株に哺乳類動物の大切 を栄育線であり、縁に哺乳動物や草食物ではあつ では必須の健康無持食物であり、ビタミン、ミネ ラル類を始めとして権々の必須アミノやを含む重 少たる栄養所分を含有している。国外に中々の根 物味集食育成分は下部に示す他りであるが、乳幼 児或は老人等の配く複雑なが多くそしやくられたな 人又は胃臓等の病気のために動き地であるが、乳幼 児或は老人等の配気では、上配用を生態物を紹介し、 その祖太恒形分を対去した空性疾を与えることが はましく、種物のに集から祖大司形物(大部分機 唯1を生去したそのいたのはならその疑事を栄養 とがままざれている。

358

5

特閒 昭51-115968 (3)

本発明者は可食性植物長葉取分が上記のように 権々の価値ある英継原を高型に含有することに済 目した。従来植物の青計を直接軟用し栄養効果を 期待した多くの試みがなされたが、折角急度なる 栄養食飲料品であるにかかわらず、これらは、嗜 好不適性及び保存性にかけ、殺菌して飲料に供せ んとすれば成分が凝固し一層の嗜好不適性を来た し、とうてい飲食料として用いることはできなか つた。

本発明者はこの嗜好不適性の改善に鋭窓研究を 続けた処、可食性又は可飼料性植物の破策から粗 大箇形分を除去して得られた増升(育升)又は該 搾汁の乾燥解棄粉末を増地として、これに乳酸菌 を授博して乳酸幽欝を試みた処、意外にも乳酸腐 酵が円滑に進行するばかりでなく、育汁特有の暗

骨升特有の暗好不適性の刺数や臭気を減少せしめ 得るとともに、現に重要なことは乳酸脂酔の乳酸 生成量及び乳酸菌の菌数が著しく増加することが 判明した。推測するに、脊計中の耐效性臭気は低 沸点の推発性成分に起因するものと考えられ、こ れ等低無点刺軟性揮発物は較骨計を一旦乾燥する 過程に於て急放するものと思われる。現に酸低患 点理に於て急放するものと思われる。現に酸低患 点が顕著性物質は多く低級脂肪酸エステル、アルコ ール類等であつて、これらの物質のであり、この の場合、収益防御が乳酸解を阻害して乳酸菌の 物種を抑制しているものと思われる。

かから實行又はその乾燥経業成分を確如として 乳酸脂機するには、上配實行をそのまとりに共生 な健康に連絡して、該乾遅紅葉糧計成分を再進と 好不適性の異気が減少し、しかも乳質を酵び乳製剤が似のコロイド状態群生産物が得られることを発見した。而して本願釋生産物中には侵配に示すように、高麗且つ多種類の有用ミネラルや例えばピタミンB」、B」、同互為の様々のピタミン類の他に育々の栄養者を参析に含有することが分つた。それ故本発明による构品が単に時代としてある。本発明による构品が単に時代をいてすぐれたものであることは明白である。本発明にかいては、原料として植物の科質から祖次園形分を分離した青汁を用いてもよいし、或はこの弁汁を乾燥して得られる乾燥砂嫌成分を用いてもよい。

本発明者はさらに下記の如く設度計を直接乳酸 静静せしめるよりも、該費計を一旦乾燥して得ら れた資計粉末を結束として乳酸料料を行う方が、

して2~30番計事、好きしくは5~20単型者、特に好きしくは7~15項首者の海星の特定額に 動製する。勿論この特度額は上配資料の前級職業 成分から調製してもよく、またその方が上述した 準由により、より階好護且つすぐれた乳殻筋群軟 食料品が得られる。

本第明に従って、乳酸酸糖を行うには、上配の 増地に乳酸剤を直接特養してもよいが、慣用法に 従ってスメータ(乳酸剤スタータ)を含まし、乳 電影解を行う方が有利である。

乳御自己しては、例えば

ラクトバナルス・ブルガリクス。

うクトバナルス・アシドフォラス。

フラトバチルス・カゼイ

キャモブトロツカオ・サモフェッス

ストレフトコッカス・タレモリス 毎日1の飲食が品出の孔を強でもよい。

通常、上割の如き乳 東州を、映取乳等の円置を 特地に非異の混入を防止しつつ時をして単1 コマ ザー・スタータを作り、とれから単に四層の主法 の項金を1万筆数回線返して映画スタータを作つ てかき、とれを確認す行义なその連絡が、収集子 の乾燥粉末から週間した際要機に培養する。

選挙に当つて似、相望声を飛に更に連当など無 生の栄養成分、 等強促進成分的名は直当な明年中、 セヌミンが、ドオテン、海州年でとの加してもよ い。之事の見解無難公と体立公和の即位であり伝 によつてもよい。なが上部のスメータにもロッで 日のる資性成分含質単率数に1~15分にそ、デ まじくは2~10年編書を加するののはまである。

京(之界のアミラーゼの形してもの、も表なパチの発達を、続度大身所集が多けられる。これらのの、 母に受益を対し、 豊田物美、 生生などその油出のよ好議な社会収分である。

○ 2 株の甲台版分は、私 製作がか(後株本)と行して、他にくが機器車を基準として、 を充まり1
 ○ 4 日本し場、料本しくなり2 ~ 2 日本日信の確果の業者制度会するのが行うしい。

の上の個くして何られるなが中のカギ、整新ではそのままで、タロュロウカを花を断及は連めしての物連の生物で発行するため機断科等は予願では結となすことのできる。かかるため裏側の父は神話とは、所謂に応じて、からま当ない知识。
でえば海当な資料、甘薬料、連絡海角側、マギ吸

ないで、中田1 元刊(資料の可要で運賃を禁制、 別元(73.0~4.0でののきゃりで1.5 均至1.00 取出 毎度する。

また、本質明に使つて経営計文はその発展的末 を含有する培養液を乳酸解解を行うに禁して、提 が述べた適り、この培養液に乳物形皮性準質又は これを含有する物質の適当なを能加、見合して、終 純無可分と四時に乳質に修を行うこともできる。 かかる乳物形度性特殊としては、例えばブドウ糖、 乳糖、半糖、多等物、ラフィノース、キシロース、 アラビノース、は分子デキストリン等の集機関及 びよりず物をあけることができる。

生产的沙白克斯的以抗糖的面質每至40人的分割 产化类化、例至对分类、抑制、按键类、解剖动乳、 过工一:现在1、必须细菌排入以近初四个工作内的

当他のようえばでルギンカリーダ、遅天、その他 の現れり、気を力え、その知力疾的の指摘、栄養 ようを参加に知いしてもよい。

また、「部の本金剛の新機和競響的は、子の生生又は適当な遵立に掲載なば無料した後、適当な 別の、同な70~150年の部間、好きしくは 100~140年のが過程でしまで連門特別無減 用して開催がない。予報を持たすることもできる。 のの、外を他に同性ののは世界でよったしてもよい。また、この可能がいなはたるである。 によりまったののにといりませんようとなりでもよ

事 無 例 1

大機業1向を水でよく洗い、水切り換チョッハーに掛けで計する。得たる増計スラリーを設切にて搾り平井的被0.9を存在。計算は維度4.5%、
ア月64であつた。計画を機動中にて80でに30分間にち政園後約30でまで合却する。そじめ前に準度せる、乳機関、ラクトバチルフ・ブルガリクスを規能洗涤地に再をしたスターター18㎡を加し、ホモジナイザーに掛けれる限と前分に助一分配せしめたる後38でに入事する性に条件があった。

dy Mit	p H	機構多	生	Ħ	ħ.
2 4	4. 0	0734	0 8 9) × 1	0 •
4 8	3 8	1.235	1.89) × 1	0 *

の3日では今日に、予じめ事体でありを選べてナス・プルストラスを搭載したスタータ・1 6 m を 他加、カモジナイザーに知け、すり 機を充分が 取りしまたもゆ3 8 t K ロケザも取りからいたか 有機能をないましめた。中がピーコス、ようであ つな。

毒温	p/h	"我"。	生養實
2 4	3. 7	1 2 5	1 1 8 1 0 5
4 8	3. 5	-1 4 6	2 1 > 1 0 *
7 ')	3.4	1 5 8.	3 3 × 1 0 ×

 生偶教…科部後! 副中の生態数である
数 版…於は底の 0 1 N Na OH 議定値より構造
でおめてある

7 2 時間後 N 解 花 を 6 5 ℃、 3 0 分 市 加 熟 改 第 後 ホモ ジナイ ザー に 掛け 大 根 葉乳 機 細 新 液 を 得 た。 こ の 6 の 5 0 0 配 を 採 り、 別 に 煮 那 设 架 せ っ グ ラ ニュー 昨 1 2 多 ※ 本 被 5 0 0 配 を 加 え、 ホモ ミキ 1 ** 1** サー 化 やけ 大 い 葉 保 汁 の 加 糖 乳 機 飲 料 を 母 た。

実 施 朔 2

実施的1名用級を方法にて四のわたフローバー 相計計解(当版6章、東月セ7)600世を詳り 国転版出 * や器間かけ漢紙兼顧を行い廉額所300世 を構た。一緒後の申岐は約12章でとつた。これ を無暇とよて40でのではで420分地加速資産

¥ 54e ⊍4 3

1100の崩潰疫域許を用いて損莠蒸削して併ら

れたエキス米を15車輪る水鉛魚とした。この水 4字加入 鉛版の p H は 6.0 であつた。

との水容放至80℃で30分類加無政策し、実施到1と同様のスターターを21/V 多参加し、37~38℃の批品時中で利益が分を行つた。その4.20年の成以以上の通りであった。

4) 17	p H	赞 甦 着
2 4	4. 1	1. 2 0
4 8	3. 6	1 7 2
7 2	3. 5	2 2 1

このとは漢200年にグラニュー権1709を グブドウ種1209で経期、毎乗して、50℃に

35 (2)	p H	微 堪	生 覆 数
2 4	3. 8	1. 1 0	0 7 × 1 0 *
4 8	3. 5	1. 2 0	2.4 × 1 0 °
7 2	3 4	1.5.1	3 1 × 1 0 *

7 2時間後の静藤液化予じめグラニュー機150g 及び水齢180g及び、射物性CMC3gを水化 とかし、約330mとし、表端設備治却した動設 を加え、ホモジナイザーに掛け均面化し、キャベン行針乳機能飲料強厚以液を存在。このものを約 25倍にうすめた乳機道は料は一年の寿存、水脈、 甘味を育する、父これを5で前後にて1ヶ月を保 年来の主商数は0.8×10gが可であつた。

海 剜 纫 4

製角側3と曲様にして梅たキャベツ南部分・映 6 重量るの操計が硬化対して、その同形分の2.2

加型してオモジナチザーにかけ、次いで80℃で 3.0分節数略して、乳管飲料原療となした。

" "# #e 641 5

展展網3と同様の方法でコンプリーを得行し、 遺産が後して得られたコンプリー粉末におして、 下記的2年に示す事材即合で形芽エギス未及び完 中時異を加えて全可形分乗場を15事材をとした 大紹祥を軍需負すと同様の条件で異報網機を行う た。その解解経過は以下の出りであつた。

(配合制合)

		•			
双群派		A	В	С.	ν
現 雅 粉 類		5		. 5	1
中华エキス	•	3 5	4	3	1
] n /7 = # * *		15	1	2	ι

舒 静 鞋 通

	2.4 時間		4.8 時間.		7.2時期	
	pН	海 崔	p [[恢度	pΗ	成 漫
A	3.4	2.27	3.3	312	3 3	3 3 9
В	3 3 5	2.3 1	3.2 5	285	: : 3 2 3	2 1 2
C	3.4	1.8 4	3 2	307	3.27	3 2 3
D	3. 3	2.2 9	3.2 8	2.9 2	3 2 5	302

(4) のおれたため後しは、B、Cをひかりをそれぞ8 のでできる分析能を出した。

中のわた最高強はいつお本が確けつ初一をロロ イドす礼者が確在でとつて、しかも社との良いを 客のをびまりを申していた。なか、味着は naisk いわべかもなかでよつた。

奥原州3と同様にして得るホーレン草搾汁末に 対して河軍権の脱痕紛れを狙えて、全湖形分世間 1 2 重食もの水糸筋(pH約 6.5)とした。これ を選集例4と同様に加熱殺菌し、乳嚢管形を打つ た。その候補経過は以下の通りであつた。

時一間	p H		段 財	
2 4	3. 7		1. 5	•
4 8	3. 5		2. 5	
7 2	3. 4	5	2.95	

72時間後の解酵液をホモジナイザー化かけた ところ、均一な無細コロイド状態実物となり、良。 好な風味を有していた。とのも性神を80℃で30 分間加減設置し、7倍し谷を)に梅釈して山られ 九树积液100g的分析指例は下配附5数以除す

6. 添付書類の目録

1	明	*	45		1 49
	M OUX	XXXX	XX	÷,	kodá
2.	委任	大 以 火火	X:CXX	kak :	8 1 M
	30 (3)	KAPIX	ys ą cz,	XXXX	各心验
	bolts:	CCXXX	u wad	drawing the	Michael Company Control

- 3. 出标系表的束带 7. 前記以外の発明者、特許問領人または代理人

 - - 兵庫从伊州市有日丘兰18一 氏 名
 - (2) 内方出版 3
 - Œ Œ

 - c(k|S
 - - 鱼 图 東京都港区多數11月19番15号 日 医自 宏 医 孟 難。
 - n y (7367) #5r: 李 宋 入 张
 - (E. Ph itir 1.
 - 武 名(7421) 开理出口 明 征 部

æ

$VB_{\mathbf{i}}$	V B ₂	V E	武カロチン	VB _e	ニコチン作
0.07*	0.0 5 🤫	1.2 ₩	3 1 0 0 <i>I.U</i> .	0.05 ay	0.1 2 ₩

特許出館人 小田島 外 2 名